

大規模地震・津波から港の安全を守る！

～衣浦港外港地区の西防波堤改良工事が本格化～

1. 概要

昭和34年（1959年）9月に来襲した台風21号（伊勢湾台風）により、衣浦港及び背後地域で高潮による甚大な被害が発生したため、高潮対策として昭和38年（1963年）に衣浦港西防波堤工事が着工され、昭和43年（1968年）に完成しました。

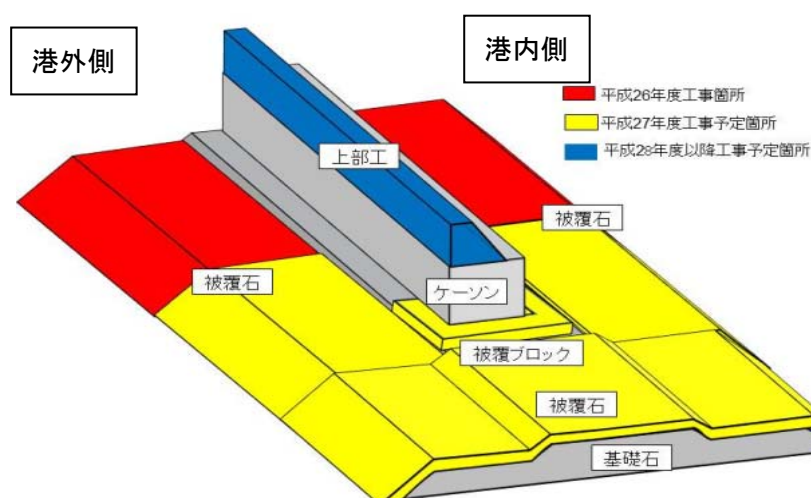
平成26年度から、今後予想される大規模地震に伴う津波に対する減災機能を発揮するとともに、完成から約46年が経過し防波堤本体の老朽化が進んだことを受けて、西防波堤の地震・津波対策（粘り強い構造への改良）を目的に工事を開始しました。

平成27年度は、防波堤土台部分の石が津波によって移動・流出することを防止するため、もっとも津波の影響を受けやすい防波堤先端部分に大型（4トン）の被覆ブロックを据付ける（並べる）工事や被覆石（1個1.5トン（※））を投入する工事などを進めます。

2. 施工箇所



3. 工事の内容

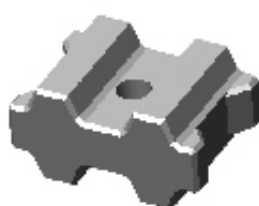




(※) 投入する被覆石の大きさは1個1.5トン（横綱、白鵬関の体重の約10倍の重さ）です。



水中に投入する被覆石



水中に並べるブロック

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

取材・視察などのお問い合わせにつきましては以下の窓口までご連絡願います。

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 前任建設管理官 服部（はっとり）

Tel 0532-32-3251 Fax 0532-32-5049